大阪成蹊短期大学 2023年3月卒 卒業時アンケート「本学での学修・学生生活について」

2023/4/3

［回答選択肢］　A.そう思う／B.ややそう思う／C.あまりそう思わない／D.そう思わない

1. 本学での学びをとおして、あなた自身の成長を実感することができましたか？
2. 本学の教育方針や教育内容は、満足できるものでしたか？
3. これからの人生において役立つことを、本学で学べましたか？
4. 本学での学修において、教員・職員からの指導やサポートは満足できるものでしたか？
5. 就職や卒業後の進路選択において、本学のサポート体制は満足できるものでしたか？
6. 本学に入学して、良かったと思いますか？

		1.成長実感					2.教育満足					3.学びの役立ち度					4.教職員サポート満足度					5.就職サポート満足度					6.入学満足度				
		A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計	A	B	C	D	総計
幼児教育学科		125	56	2	0	183	108	74	0	1	183	131	51	1	0	183	120	58	5	0	183	120	60	2	1	183	121	58	3	1	183
回答率 88.4%		**98.9%**		1.1%			**99.5%**		0.5%			**99.5%**		0.5%			**97.3%**		2.7%			**98.4%**		1.6%			**97.8%**		2.2%		
	前年比	▲ 0.2		-			1.3		-			0.4		-			▲ 1.8		-			▲ 0.2		-			▲ 0.8		-		
生活デザイン学科		23	13	0	0	36	19	17	0	0	36	23	12	1	0	36	22	14	0	0	36	18	18	0	0	36	19	16	1	0	36
回答率 94.7%		**100.0%**		0.0%			**100.0%**		0.0%			**97.2%**		2.8%			**100.0%**		0.0%			**100.0%**		0.0%			**97.2%**		2.8%		
	前年比	2.3		-			0.0		-			▲ 0.5		-			0.0		-			6.8		-			▲ 0.5		-		
栄養学科		39	34	0	1	74	39	35	0	0	74	45	28	1	0	74	39	35	0	0	74	44	30	0	0	74	42	31	1	0	74
回答率 96.1%		**98.6%**		1.4%			**100.0%**		0.0%			**98.6%**		1.4%			**100.0%**		0.0%			**100.0%**		0.0%			**98.6%**		1.4%		
	前年比	1.2		-			5.1		-			2.4		-			5.1		-			3.8		-			1.2		-		
調理・製菓学科		78	15	2	0	95	64	29	2	0	95	77	16	2	0	95	78	15	2	0	95	72	17	6	0	95	76	16	3	0	95
回答率 99.0%		**97.9%**		2.1%			**97.9%**		2.1%			**97.9%**		2.1%			**97.9%**		2.1%			**93.7%**		6.3%			**96.8%**		3.2%		
	前年比	0.1		-			2.2		-			▲ 1.0		-			▲ 1.0		-			▲ 2.0		-			▲ 2.1		-		
観光学科		33	21	3	1	58	32	21	4	1	58	40	17	0	1	58	39	17	1	1	58	38	19	1	0	58	34	20	3	1	58
回答率 87.9%		**93.1%**		6.9%			**91.4%**		8.6%			**98.3%**		1.7%			**96.6%**		3.4%			**98.3%**		1.7%			**93.1%**		6.9%		
	前年比	3.5		-			3.1		-			6.1		-			4.3		-			6.1		-			2.2		-		
グローバルコミュニケーション学科		12	15	0	0	27	14	12	1	0	27	15	12	0	0	27	16	11	0	0	27	14	12	1	0	27	15	11	1	0	27
回答率 93.1%		**100.0%**		0.0%			**96.3%**		3.7%			**100.0%**		0.0%			**100.0%**		0.0%			**96.3%**		3.7%			**96.3%**		3.7%		
	前年比	0.0		-			▲ 3.7		-			0.0		-			0.0		-			▲ 3.7		-			▲ 3.7		-		
経営会計学科		28	18	5	0	51	25	25	1	0	51	32	19	0	0	51	26	23	2	0	51	26	20	4	1	51	30	18	3	0	51
回答率 92.7%		**90.2%**		9.8%			**98.0%**		2.0%			**100.0%**		0.0%			**96.1%**		3.9%			**90.2%**		9.8%			**94.1%**		5.9%		
	前年比	▲ 4.9		-			2.9		-			0.0		-			▲ 3.9		-			▲ 7.4		-			▲ 1.0		-		
短大合計		338	172	12	2	524	301	213	8	2	524	363	155	5	1	524	340	173	10	1	524	332	176	14	2	524	337	170	15	2	524
回答率 92.3%		**97.3%**		2.7%			**98.1%**		1.9%			**98.9%**		1.1%			**97.9%**		2.1%			**96.9%**		3.1%			**96.8%**		3.2%		
（前年回答率 87.5%）	前年比	0.3		-			2.1		-			1.1		-			0.2		-			0.5		-			▲ 0.4		-		

大阪成蹊短期大学

2023年3月卒 卒業時アンケート「DPの修得意識に関するアンケート」

A‥そう思う　B‥ややそう思う　C‥あまりそう思わない　D‥そう思わない

生活デザイン学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1）日常の衣生活における衣服の取り扱いについて基本的な知識・技能を身につけた。	22	14	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.61**	▲ 0.25
	2）和、洋の衣服制作における基本的な知識・技能を身につけた。	21	15	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.58**	▲ 0.28
	3）ファッションビジネスにおける基本的な知識を身につけた。	22	14	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.61**	▲ 0.23
	4）家庭生活において必要となる衣服の基本的な知識を身につけた。	21	15	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.58**	▲ 0.26
社会で*実践*する力	5）独立分業制が中心のアパレル・ファッション業界のなかで、自己が就く職の中から業界の課題を発見し、解決と業界発展に向けて取り組むことができる。	18	18	0	0	**100.0%**	4.5P	**3.50**	▲ 0.23
	6）アパレル・スタイリストコースにおいては専門技術のスキルアップを目指し、ファッションコーディネートコースにおいては、ファッションビジネスに対して常に興味と向上心を持ち、何れも継続して自己研鑽を図ることができる。	19	17	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.53**	▲ 0.29
協働できる素養	7）アパレル・ファッション業界が分野ごとに分業制によって成り立ち、それぞれの分野の相互理解の上に同業界が成り立っていることの理解を持ち、他者と協働して取り組むことができる。	21	15	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.58**	▲ 0.19
	8）アパレル・スタイリストコースにおいては専門技術のスキルアップを目指し、ファッションコーディネートコースにおいては、ファッションビジネスに対して常に興味と向上心を持ち、何れも継続して自己研鑽を図ることができる。	19	17	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.53**	▲ 0.29
忠恕の心	9）他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	19	17	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.53**	▲ 0.29

調理・製菓学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1）学びの専門性における基礎知識や専門知識が身に付いた。	77	17	1	0	**98.9%**	▲ 1.1P	**3.80**	0.12
	2）身に付けた基礎的な技術・技能を実践し、活用することができる。	74	19	2	0	**97.9%**	▲ 1.0P	**3.76**	0.16
社会で*実践*する力	3）与えられた役割での課題に対し、解決していくために積極的に取り組むことができる。	74	19	2	0	**97.9%**	▲ 2.1P	**3.76**	0.20
	4）技術を修得するため継続的に努力を行うことができる。	76	17	2	0	**97.9%**	▲ 2.1P	**3.78**	0.17
協働できる素養	5）職場や地域社会で円滑に仕事を進めるため、積極的にコミュニケーションをとることができる。	70	23	2	0	**97.9%**	0.1P	**3.72**	0.16
	6）チームで働く環境において、自ら考えて行動する姿勢が身に付いた。	73	20	2	0	**97.9%**	▲ 1.0P	**3.75**	0.19
	7）他人の意見を受け止め、尊重することができる。	79	15	1	0	**98.9%**	▲ 1.1P	**3.82**	0.18
忠恕の心	8）他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	83	10	1	1	**97.9%**	▲ 1.0P	**3.84**	0.15

栄養学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1）食により人々の健康をサポートする専門家に必要な知識と技能を修得した。	40	33	0	1	**98.6%**	1.1P	**3.51**	▲ 0.03
	2）専門の知識と技能を活かした職業観を身につけた。	38	35	0	1	**98.6%**	1.1P	**3.49**	▲ 0.07
社会で*実践*する力	3）専門知識と技能を実践に活かし自ら課題解決を行うための思考力・判断力を身につけた。	35	38	0	1	**98.6%**	3.7P	**3.45**	0.00
	4）課題解決のために、探求心を持って、積極的に行動できる。	33	39	2	0	**97.3%**	1.1P	**3.42**	▲ 0.02
	5）専門職に必要な知識と技能を磨き続ける向上心を持ち、次のステップをめざすことができる。	35	38	1	0	**98.6%**	2.4P	**3.46**	0.04
協働できる素養	6）周りの人と協力してものを作り上げることができる。	39	35	0	0	**100.0%**	3.8P	**3.53**	▲ 0.04
	7）集団の中で責任感を持って、自分の役割を果たすことができる。	40	34	0	0	**100.0%**	3.8P	**3.54**	0.02
忠恕の心	8）他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	38	36	0	0	**100.0%**	2.5P	**3.51**	▲ 0.07

幼児教育学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1）教育・保育・福祉専門職としての職務を行うことのできる専門知識・技能および基本的な実践力を身につけた。	115	66	1	1	**98.9%**	0.3P	**3.61**	0.07
	2）教育・保育・福祉専門職としての職務の内容や、子どもの命を預かる専門職としての責任と倫理を理解した。	123	58	1	1	**98.9%**	0.3P	**3.66**	0.11
	3）生涯にわたる人格形成の基礎づくりによい影響を与える児童文化財（絵本、紙芝居、人形劇、童謡、舞踊、玩具など）についての知識が広がったり深まったりしたとともに、もっと知りたいという思いをもつことができた。	119	63	1	0	**99.5%**	0.4P	**3.64**	0.09
	4）子どもの生命、発育・発達、子どもの育ちや子育てのあり方に影響を及ぼす環境の問題について学び、幅広い関心をもつことができた。	124	58	1	0	**99.5%**	0.9P	**3.67**	0.11
社会で*実践*する力	5）実習等での保育実践を通して、自己自身の課題にはっきりと気づき、社会から求められている保育者となるために、自らの人間性や専門性を高めるための努力や課題解決に向けた行動をすることの重要性を理解し、取り組むことができた。	119	63	1	0	**99.5%**	0.9P	**3.64**	0.10
	6）他者からの助言や指導を素直に受け止め、自己の成長につなげていこうとする意欲や行動力をもつ（高める）ことができた。	116	66	0	1	**99.5%**	0.4P	**3.62**	0.09
協働できる素養	7）他者の意見やアドバイスに耳を傾ける姿勢をもち、ひとりよがりにならず、コミュニケーションと柔軟な考え方を大事にすることによって、課題解決に向けて周りの人と協力することができる力を身につける（高める）ことができた。	118	65	0	0	**100.0%**	0.9P	**3.64**	0.09
	8）集団やチームの中で、率先して自らの役割を見つけ、与えられた役割を責任をもって果たすことができる力を身につける（高める）ことができた。	115	68	0	0	**100.0%**	0.9P	**3.63**	0.10
忠恕の心	9）誠実、公平、受容的態度で人と接し、他者の意見や主張を丁寧に聴き、他者の立場に立って物事を考えることができる。	112	70	1	0	**99.5%**	0.4P	**3.61**	0.07
	10）他者の人格やプライバシーを尊重しつつ、他者理解を深めるための積極的な関わりができる。	122	61	0	0	**100.0%**	0.9P	**3.67**	0.12

観光学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1）観光学の専門知識（歴史、文化、社会、経済、経営等）と宿泊、旅行、運輸、接客等に関する実務能力や情報処理の専門技能を身につけた。	39	17	2	0	**96.6%**	4.4P	**3.64**	0.26
	2）観光関連及び一般企業における実務能力や顧客に対するホスピタリティ、サービスを理解し、心のこもった対応力を身につけた。	42	15	1	0	**98.3%**	0.9P	**3.71**	0.20
	3）産学連携・地域連携などに参加し、地域経済の活性化や課題解決に取り組む力を身につけた。	33	22	3	0	**94.8%**	7.8P	**3.52**	0.30
	4）従来のマスメディア及びインターネット関連のメディアに関与し、それらを活用できるようになった。	30	26	2	0	**96.6%**	7.0P	**3.48**	0.17
	5）英語の専門知識や実用英会話の能力を身につけた。	26	24	6	2	**86.2%**	5.7P	**3.28**	0.17
社会で*実践*する力	6）社会で自立した人間として生きていくことができるように、自分で考え、問題を発見し、解決することができる。	33	23	1	1	**96.6%**	3.1P	**3.52**	0.17
	7）観光産業をはじめ広く企業、自治体等で活躍できるコミュニケーション能力、社会人としてのマナーを身につけた。	35	21	1	1	**96.6%**	3.1P	**3.55**	0.14
	8）ビジネス実務における諸活動（営業、販売管理等）を遂行するのに必要な知識と技能、ならびに自己のキャリアをデザインできる能力を身につけた。	33	22	2	1	**94.8%**	5.2P	**3.50**	0.21
協働できる素養	9）地域社会や職場において協力して仕事ができるコミュニケーション能力、自分で考える力、プレゼンテーション能力、協調性を身につけた。	36	20	1	1	**96.6%**	4.4P	**3.57**	0.18
忠恕の心	10）他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	37	20	0	1	**98.3%**	6.1P	**3.60**	0.23

経営会計学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1）事務職として必要な知識（経営・マーケティング、会計・簿記、情報処理、ビジネスマナー）と、経理・事務処理に必要な簿記のスキル、PCのスキル（文書作成、表計算等）を身につけた。	36	15	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.71**	0.14
	2）経営や簿記・会計の専門的知識を活かして、経営戦略や貸借対照表、損益計算書を分析して課題を発見し、課題解決に向けたプロセスを考えることができる。	23	26	2	0	**96.1%**	1.0P	**3.41**	▲ 0.00
	3）新たな物事に積極的に取り組むことができる。	23	27	1	0	**98.0%**	2.9P	**3.43**	0.09
	4）失敗や課題にもめげずに、最後までやり遂げることができる。	25	26	0	0	**100.0%**	7.3P	**3.49**	0.27
社会で*実践*する力	5）担当する分野の先輩や後輩をはじめ、関係者との対話を通して協力して仕事に当たることができる。	26	22	2	1	**94.1%**	3.9P	**3.43**	0.09
	6）所属している組織やプロジェクトチームの中で、自分の役割を理解して、その責務を果たすことができる。	24	27	0	0	**100.0%**	7.3P	**3.47**	0.13
協働できる素養	7）担当する分野の先輩や後輩をはじめ、関係者との対話を通して協力して仕事に当たることができる。	25	23	3	0	**94.1%**	6.3P	**3.43**	0.14
	8）所属している組織やプロジェクトチームの中で、自分の役割を理解して、その責務を果たすことができる。	28	23	0	0	**100.0%**	7.3P	**3.55**	0.26
忠恕の心	9）他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	34	17	0	0	**100.0%**	2.4P	**3.67**	0.15

グローバルコミュニケーション学科		ポジティブ回答		ネガティブ回答		ポジティブ割合(A+B)		平均点	
【ディプロマポリシーに基づく設問】		A	B	C	D		(前年比)		(前年比)
確かな専門性	1）文化の多様性を考えて、他者と力を合わせ、言語や身体を活用した表現に関する専門性を身につけた。	15	12	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.56**	▲ 0.13
	【上記の「専門性」とは、次の4つの力のうち「1つ以上」を修得したことを示す】								
	1-1）国語・日本語・日本文化についての専門的な知識・技能を身につけた。	14	13	0	0	**100.0%**	4.5P	**3.52**	▲ 0.07
	1-2）英語・英会話・国際社会についての専門的な知識・技能を身につけた。	13	13	1	0	**96.3%**	0.8P	**3.44**	▲ 0.10
	1-3）音声・音楽（発声法、朗読、オーディオドラマ等）についての専門的な知識・技能を身につけた。	11	15	1	0	**96.3%**	5.4P	**3.37**	▲ 0.18
	1-4）舞台パフォーマンスを通じた身体表現についての専門的な知識・技能を身につけた。	12	13	1	1	**92.6%**	1.7P	**3.33**	▲ 0.21
社会で*実践*する力	2）様々な出来事に関心を持ち、生涯を通じて自ら主体的に学ぶことができる。	12	15	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.44**	▲ 0.24
	3）変化の激しいグローバル社会を生き抜くための情報収集力・論理的分析力・発信力を身につけた。	13	14	0	0	**100.0%**	4.5P	**3.48**	▲ 0.06
	4）人間に対する深い理解に通じ、問題を整理・解決し、新たな価値を創造することができる。	12	14	1	0	**96.3%**	▲ 3.7P	**3.41**	▲ 0.18
協働できる素養	5）確かな言語力と表現力に基づき、異なる価値観を持つ人たちと協働することができる。	16	11	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.59**	▲ 0.04
	6）世の中と自己を関連づけ、広く社会や人々に対して働きかけることができる。	14	11	2	0	**92.6%**	▲ 7.4P	**3.44**	▲ 0.15
忠恕の心	7）他者の意見や考え方を理解するように努め、思いやりの心を持って行動することができる。	16	11	0	0	**100.0%**	0.0P	**3.59**	▲ 0.04